

2021年9月15日

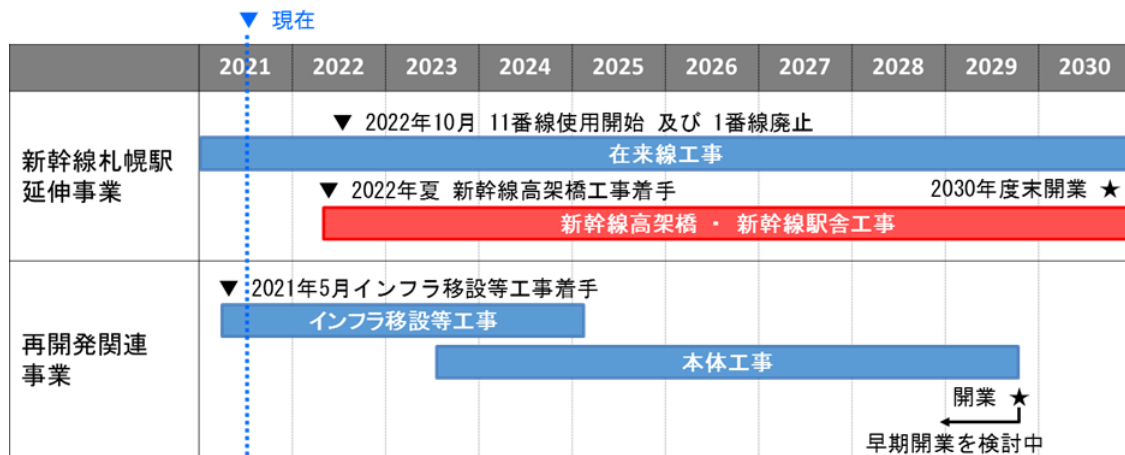
北海道新幹線札幌延伸に向けた工事について

北海道新幹線札幌延伸に伴い、札幌駅構内の改修工事（支障移転工事）の施工を鋭意進めておりますが、2022年度より、札幌駅および起終点方の在来線高架橋の南側に新幹線構造物を構築する工事（新幹線高架橋工事）に着手します。

今回、札幌駅とその周辺における通路・昇降設備の閉鎖など、新幹線工事に伴う2022年度までの施設変更の概要についてお知らせいたします。

工事期間中、ご迷惑をお掛けすることになりますが、北海道新幹線札幌延伸に向け安全第一で作業を行ってまいります。工事へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

【新幹線札幌駅・再開発ビルの工事工程】



1. 在来線駅部への影響

1) 在来線駅部の工事について

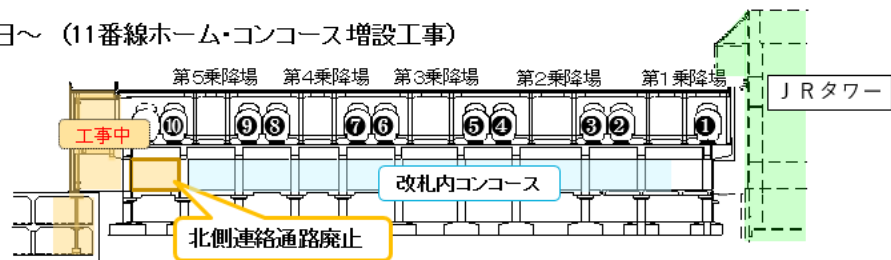
現在、11番線ホーム新設工事を進めております。これは、駅の南側に新幹線高架橋を構築する空間を生み出すために廃止する1番線の代替として工事を行っているものです。

今後、11番ホームの下に改札内コンコースの増設工事を行うため、2021年10月から、北側連絡通路がご利用できなくなります。このため、お客様にはご不便をおかけしますが、東西の往来は、当面の間、南側連絡通路および北口駅前広場のう回路のご利用をお願いします。

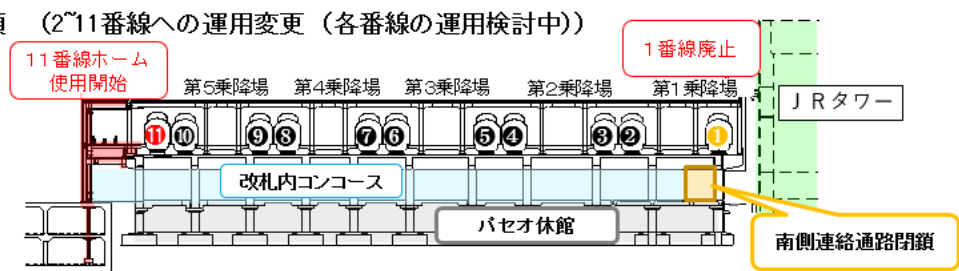
また2022年10月頃には、11番線が使用開始、1番線が廃止となり、着発線ホームが変更になります。なお、1番線あとに新幹線高架橋を構築する工事に着手するため、2番線ホームについては、ホーム・階段の幅員の縮小、エスカレーター改修などを計画しているほか、南側連絡通路も閉鎖する計画です。

【断面図(ホーム階)】

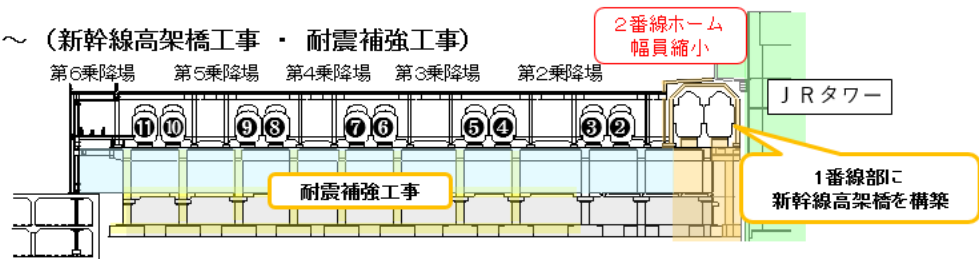
■ 2021年10月1日～ (11番線ホーム・コンコース増設工事)



■ 2022年10月頃 (2～11番線への運用変更 (各番線の運用検討中))



■ 2022年10月頃～ (新幹線高架橋工事・耐震補強工事)



2) 構内通路・コンコースの閉鎖縮小

2022年10月からパセオの休館を予定しております。これは、新幹線高架橋工事やそれに伴う在来線高架橋の耐震補強工事により、パセオの主要設備（空調・電気・冷暖房・防災など）の撤去が必要となるため、商業施設として営業を継続することが困難との判断によるものです。休業期間は3～6年程度を予定しておりますが、部分的な営業を含め、商業施設としてなるべく早期の営業再開を検討してまいります。

また、パセオ休館後、高架下の通路・昇降設備等の閉鎖・縮小が以下のとおり発生します。

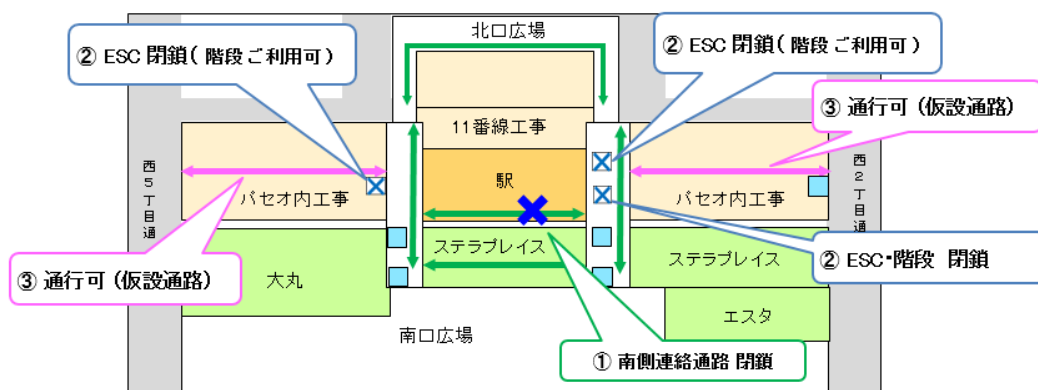
- ① 南側連絡通路をご利用できなくなります
- ② 東西コンコース内の一部の昇降設備をご利用できなくなります
- ③ パセオ店舗内の通路は全面的に閉鎖されますが、1階の東西をつなぐ通路および地下1階の南北をつなぐ通路は、仮設通路を整備し動線を確保いたします

【構内・パセオ内通路イメージ】

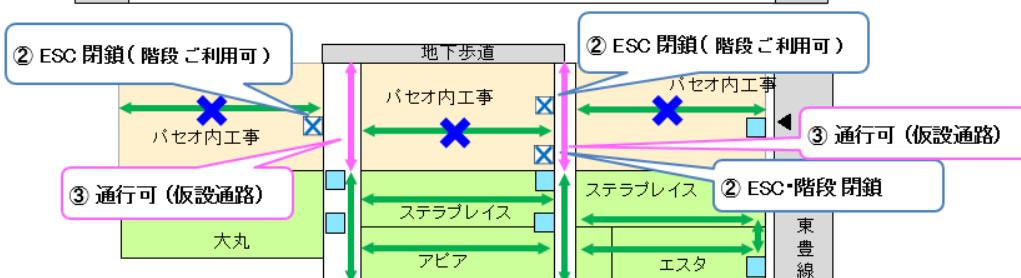
【凡例】 □ : 昇降設備
 × : 影響がでる昇降設備
 → : 通路
 → : 仮設通路

○ 2022年10月 パセオ 休館時（パセオ内通路廃止）

【1F】



【B1F】



2. 周辺道路への影響

当社は、事業主体である鉄道・運輸機構から委託を受けて、西5丁目エリア～東1丁目エリアの延長約800mの新幹線駅舎および新幹線高架橋工事を施工します。新幹線駅舎ができる西1丁目エリアを皮切りに、2022年夏から段階的に高架橋工事に着手する予定です。

在来線の南側に新しく高架橋を構築することから、西5丁目エリア、西1丁目エリア、東1丁目エリアにおいて、在来線高架橋南側の道路に影響が出るほか、サツエキ Bridge など高架下施設も一部を除き支障する見込みです。

【札幌駅周辺状況】

